

丹波市市島町・春日町の歴史的建造物調査

岸 泰子

丹波市では、市内6町（山南・柏原・市島・春日・氷上・青垣）に残る歴史的建造物（寺社建築・民家・公共施設）の調査を実施している。丹波市内に残る歴史的建造物の実態を把握し、特色を明らかにすることを目的とする本調査では、まず全体の状況を把握するために現地を踏査し歴史的建造物を1棟ずつ確認する一次調査を実施する。そして、一次調査のなかから時代・建築・地域性がよく表れていると思われる建物を選び、その詳細を調査する二次調査をおこなう。筆者は、京都大学山岸常人・神戸大学黒田龍二とともに、平成19年から継続的にこの調査に参加している。山南・柏原町については調査が終了しており、平成27年に報告書を刊行した（丹波市教育委員会『丹波市の歴史的建造物Ⅰ 山南町・柏原町編』平成27年6月）。

平成28年度は、市島・春日町の寺社建築・民家の二次調査を実施した。計4日実施したうち、京都府立大学の学生が参加した3日間の調査の概要を報告する。

1. 調査概要

調査日 平成28年6月1日、9月5日・6日 計3日
調査者 6月1日 新尺雅弘・岸 9月5日・6日 藤澤愛・安江範泰・岸
調査内容 野帳（平面図）作成・実測〈新尺・藤澤・安江〉
調査票作成・写真撮影・聞き取り・建設関係史料（棟札、古文書など）確認〈岸〉
調査対象 6月1日 白毫寺（太鼓橋・薬師堂・熊野権現社）、本明寺（本堂）、三輪神社（本殿・三岩荒神）、与戸観音堂、八幡神社（本殿・長床） 計9棟
9月5日 愛宕神社（本殿・稲荷社・熊野社）、天満神社（本殿・境内社・長床）、岩戸寺（熊野神社本殿・山門・本堂・本坊表門） 計10棟
9月6日 U家住宅（春日町）、西山酒造（主屋・離れ・酒蔵）計4棟

2. 調査概要

参加者は現地で作成した野帳にもとづき製図ソフト（Vector Works）を用いて平面図の清書をおこなった。また、岸は各個解説（各建物の構造形式や特性などの解説）を執筆した。

今回調査した建造物の特徴について述べておく。市島・春日町の寺社建築は山南町のものに比べて小規模で意匠や技法に派手さはないが、丁寧に造作された良質な遺構が多数ある。一方、民家（農家）については、近代に建設された主屋においても農家の標準的な平面形式（平入の整形四間取）が多いことを確認した。

本成果は、来年度に刊行予定の報告書において公表する予定である。また、次年度からは、続けて青垣・氷上町の一次調査に着手することになっている。